Marpで資料を作ってLTへの参加ハードルを下げる

自己紹介

髙橋俊介

- 新卒で小売業界でSV(スーパーバイザー)として働く
- 2019年よりWebエンジニアとして働き始める
- 今年の2月から株式会社UtillでWebエンジニアとして働いている

本日のお題

- そもそもLTについてどういう認識?
- MarpでLT資料を作ろう
- ・まとめ

- 題材と資料に関して
- LTを始めてやる人が 気になりそうな点

などを調べる人が多い

大別すると以下の要素に集約される。

題材系

→人によるので一律に解決策が出しづらいこと。

<hr>

資料系

→ある程度、技術的に解決出来ること。

参加へのハードルを下げれそうな点

→LT資料を作ることが楽になればいい

何を使ってLT資料を作る?

ツール

- PPT、Google スライド
- Keynote
- Canva
- etc...

もっと楽に資料作りたい

- 資料作成に時間かけたくない
- 書き慣れてるMarkDownで書きたい
- 履歴管理したい

Marpとは?

Markdown Presentation Ecosystem

https://marp.app/

- Markdownでプレゼンテーション資料を簡単に作成できるツール。
- VScodeの拡張機能として「Marp for VS Code」があるため今回はこちらを使用。

用意するもの

- Visual Studio Code (必須)
- Marp for VS Code (必須)
- Markdown Preview Mermaid (任意)
- GitHub アカウント(任意)

効率的に使うための準備

VSCodeの設定で
markdown.marp.enableHtml で検索して、checkを入れておくことで
HTMLを認識できるようにしておく。

今回触れること

• Marpで出来ることの概要

今回触れないこと

- MarkDownやMarp、Mermaidの記法について
- Marpのテーマファイル作成などの踏み込んだ部分

基本的にMD記法なら何でも書ける

【表サンプル】

ID	name	created_at
1	hogehoge	2023-09-01 00:00:00
2	fugafuga	2023-09-01 19:00:00

Mermaidも使える

<div class="mermaid">
sequenceDiagram participant cook
as 料理人 participant tool as フライ
パン cook ->>+ tool: お肉を焼く Note

over tool: 火が通るまで待つ tool --

>>- cook: 焼き上がり </div>

特定のページだけスタイル変更したい

表示を変えたいページに

```
<style scoped>
    要素{
         セレクタ:プロパティ;
     }
</style>
```

を挿入することでscopedとしてCSSも割り当てられる。

Marpを出力

単純に出力するだけであれば VSCode上で出力可能。

Marpを出力

VSCodeの設定で markdown.marp.exportType を開けば

- HTML/CSS
- PDF
- PowerPoint ドキュメント

と出力形式を選択することも可能。

公開まで自動化したい

@marp-team/marp-cliとGitHub Actionを使って、mainブランチにMergeすることでスライドとして公開することも可能。

まとめ

- LTはMarpを使って資料作成に時間を掛け過ぎない。
 - 使うことで1ページのボリュームを盛り過ぎずに済む。
- 社内でLT会をやる時などMarpで
 - 。 GitHubなどで管理しておくと楽
 - 。テーマ用CSSを作って使いまわせるようにしておくことで更に効率化

ご清聴ありがとうございました。